

山形県バドミントン協会

【留意点】

- (1) 本大会は、「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）」（第2版 令和3年2月8日付公益財団法人日本バドミントン協会）に基づき実施する。大会役員、競技会役員、選手、監督、コーチ、チームスタッフ、報道関係者、観戦者等（以下、参加者）は、事前に確認すること。
- (2) 本大会は、有観客とする。（保護者の入場は、当日出場する生徒の1人につき、家族2名）
- (3) 参加者は、「山形市総合スポーツセンター入館者名簿」（県バドミントン協会HPよりダウンロード）で体調等の確認等を行い、選手・監督・引率者等は、学校毎に必要な事項を記入し当日受付に提出すること。（下記項目に1つでも該当する場合は入館を自粛すること）
  - ① 体温（37.0以上の発熱の有無）
  - ② 咳、喉の痛みなどの風邪の症状
  - ③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - ④ 体が重く感じる、疲れやすい等
  - ⑤ 味覚や嗅覚の異常
  - ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
  - ⑦ 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
  - ⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触
- (4) すべての参加者は会場入場時に、検温・消毒を行う。
- (5) 参加者が感染疑いの症状等がある場合の対応は下記のとおりとする。
  - ① 参加者が、開催1週間前から当日までに、感染疑い（山形大会山形市総合スポーツセンター入館者名簿のチェックシートの項目、上記（3）①～⑧のいずれかに該当）したが、PCR検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者は、入館を認める。（以下は参考）
    - a 感染の症状が発生後、少なくとも7日が経過している。（発症日を0日として7日間）ただし、自主検査で陰性が確認5日経過後（6日目）に解除可能。
    - b 濃厚接触者の場合は、少なくとも5日が経過している。（陽性者発症日を0日として5日間）ただし、自主検査で陰性が確認2日経過後（3日目）に解除可能。
  - ② 参加者が大会開催中に感染疑いの症状が発生した場合の対応
    - a 感染疑いの症状がある選手、監督、コーチは、参加できない。
    - b 該当する者（軽症者含む）は、各所属の責任において原則速やかに帰宅させる。
- (6) 観客席は、指定された場所で、隣の人と1m程度の間隔をとりマスク着用とすること。また、大きな声での会話や応援を禁止する。
- (7) 競技を行っていない時の選手・監督・コーチはマスク着用（不織布マスク推奨）とする。また、手洗い、アルコール等による手指消毒の徹底、ほかの参加者、大会役員等との距離の確保（できるだけ2m以上を目安、最低1m以上）をお願いする。
- (8) 機械換気及び一部のドア、窓の解放による常時換気を行う。また、レフェリーの判断により、一定の時間、全てのドア、窓を開放する全館換気を行う場合もある。
- (9) 飲食の際は、周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、極力会話はしないこと。特に、食事の際は、食前、食後の消毒、黙食を徹底し、可能な場合は屋外で食べるなど配慮すること。ゴミは、すべて持ち帰ること。